

ペタンク

木製の小さなビュット（目標球）に、金属製のボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競うゲームです。

◎対象学年 小学校中高学年以上

1. 用具

- ・ボール…金属製（鋼鉄やステンレス）直径 7.05 cm～8 cm、重さ 650g～800g。
- ・ビュット…目標球のことをいう。木製、直径 25 mm～35 mm、重さの規定はない。
- ・室内用のペタンクもあります
- ・メジャー…2 m程度のものがよい。



2. 人数 1人対1人、2人対2人、3人対3人

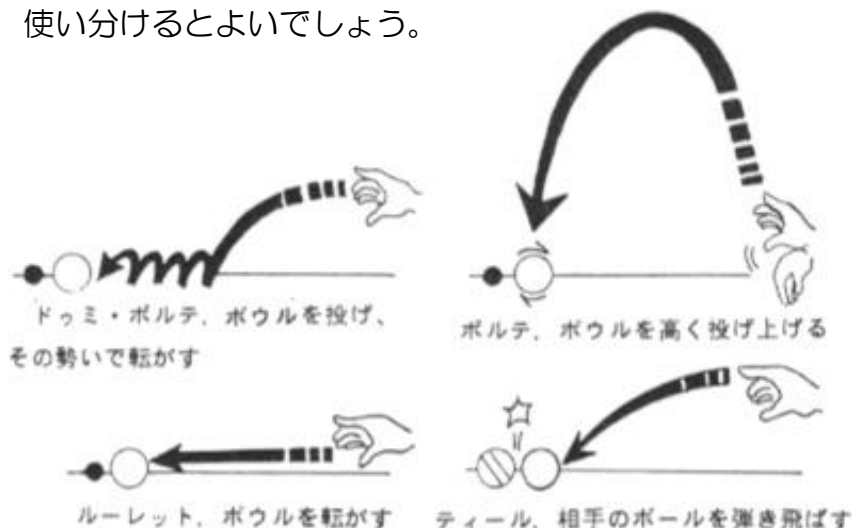
3. 場所・コート

- ・幅4 m×長さ15 m以上であればよい。投球サークルは、直径35 cm～50 cm

◎ルール

- (1) ボールを投げるときは、サークルの線を踏んだり、ボールが地上に落ちる前に足を上げたりしてはいけない。
- (2) ボールを投げる順番は自由である。（連続して投げてよい。）
- (3) ビュットがボールに押し出されて、コートの外に出た場合
 - ① 一方のチームにのみ残り球があれば、その個数が得点となる。
 - ② 両チームとも持ち球があるとき、またはないときはそのメーヌをやり直す。
- (4) ビュットまでの距離が相手チームと同距離になった場合は、追いついたチームがもう1球投げる。状況が変わらなければ、次はもう一方のチームが投げる。

◎ボールの握り方は、手の甲を上にし、指をボールにそえて軽く曲げて握る方法が一般的です。また、ボールの投げ方には右図のような4つの投げ方があり、状況により使い分けるとよいでしょう。



ペタンクの握り方



◎ゲームの進め方

(1) チーム編成

- ・3人对3人で行い、各プレイヤーの持ちボールは2個とする。2人对2人は3個、1人对1人は6個で行う。

(2) ビュットを投げる

- ・じゃんけんなどでビュットを投げる権利を決める。権利を得たチームが投球サークルより6m～10mの範囲内にビュットを投げる。(範囲内にビュットが止まらないときは、3回まで投げ直すことができる。)

(3) 第1投目

- ・初めにビュットを投げる権利を得たチームが、ボールをできるだけビュットの近くに止まるように投げる。(ビュットを投げた人と同じ人でなくてもよい。)

(4) 第2投目

- ・次に、相手のチームが同様に投げる。

(5) 第3投目以降

- ・両チームの一番近いボールを比べて、負けている(ビュットから遠い)チームが、相手のボールより近づくまで投げる。
- ・ボールが相手チームより近づいた時に、投げるチームが変わる。
- ・一方のチームが6個とも投げ終わり、相手チームにボールが残っている場合は、そのボールも得点をさらに稼ぐために投げる。

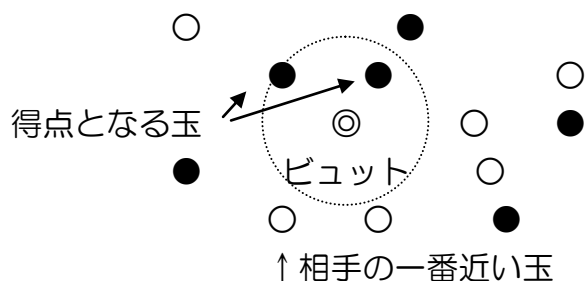
(6) セット終了

- ・両チームとも、ボールを全部投げ終わった時点でセット(メーヌ)が終了し得点を数える。

(7) 得点の数え方

- ・得点は、両チームのビュットから最も近いボール(ベストボール)の確認から始める。相手チームのベストボールより味方のチームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロとなる。

得点の数え方の例



左の場合、ビュットに近いのは黒なので、黒チームが勝ち。得点は、相手(白)の一番近い玉より内側に2個あるので、2点となる。

- (8) 次のメーヌはビュットのあった位置にサークルを置き、ゲームを始める。同様にしてメーヌを繰り返し、13点先に取ったチームが勝ちとなる。